

地域情報基盤整備事業

自治体情報

人口 6,888人

標準財政規模 2,730,867千円

担当課 青森県 田子町 総務課 デジタル通信対策グループ

電話番号 0179-20-7229

ホームページ <http://www.town.takko.aomori.jp/>

事業期間 平成20年度から平成21年度まで

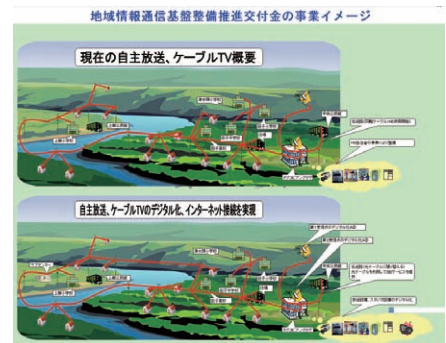
参考とした施策

関係施策分類 ⑨

施策の概要

1 取り組みに至る背景

当町は、平成6年にケーブルテレビ放送施設を整備し、情報格差の是正、テレビ難視聴対策、地域の活性化を進めてきた所であり、町民が生活全般の情報を収集、共有する重要な情報メディアとなっている。しかし、地上テレビ放送のデジタル化に伴い、現在の施設のままではデジタル放送に対応できないため、新たな設備構築が求められている。また、ブロードバンド環境は、町の約半分の地域では低速のISDNしか利用できない状況にあり、高度情報化社会にあって、都市部との情報格差はもとより地域内での情報格差が生じている。



2 事業内容（目的・目標・方策）

目的

現在の同軸ケーブルを光ファイバケーブルに張り替え、情報通信の基盤を整備する。併せて全世帯を対象に防災告知端末を設置して町民の安心・安全な暮らしができる環境を整備する。

目標

(1) 情報基盤の整備

◎公共ネットワークの構築

学校、公民館等の公共施設にも別芯で光ファイバを引き込み、災害時は、住民からの個別の被災情報を各公共施設のPC端末から収集し、データ放送を使い全住民で情報共有する。また、学校間交流の促進、多様化する住民ニーズに対応した行政サービスの充実を図る。

◎ブロードバンドサービスの構築

光ファイバの一部を通信事業者へIRU契約により貸出し、町内の情報通信格差是正を図り、都市部と同じレベルの有料による民間の超高速インターネット利用が可能となることから、町民の多彩な情報に接する機会が増えるとともに、電子行政サービスの提供やビジネス利用への拡充が図られる。

(2) テレビ放送環境の整備

変調方式はパススルー方式を採用することにより、受信側にSTB等の特別な装置を設置することなく必要とする広帯域を確保でき、構築全体でのコストが抑えられるほか住民負担の軽減も図れる。また、自主放送もデジタル化し、更にコンテンツの充実を図る。



(3) 緊急告知端末の整備

全世帯にFM波方式の緊急告知端末を設置し、気象条件に左右されない防災ネットワークを構築する。

方策

総務省所管の地域情報通信基盤推進交付金事業の交付決定を平成20年度に受けて平成21年度に繰越事業で実施する。

3 施策の開始前に想定した事業効果

情報通信を活用することで、地域コミュニティの活性化をはじめ、福祉・教育・防災・地域振興など住民サービスに寄与し、住民の生活を便利にすることはもちろん、次世代を担う子供たちがいきいきと健やかに暮らせる町づくりができる。

4 導入にあたり工夫・苦労した点、課題、対処法など

住民の安心・安全を図るため、全戸加入を目指すこととした。このため、現在ケーブルテレビ利用料金を徴収しているが、この利用料金を無料とすることで、住民の負担を軽減し、加入促進を図った。

5 現在の成果・実績、今後の展開など

仮申込書を取った結果、加入率93%であるため、工事の実施と併せて100%の加入を目指す。

予算関連データ 田子町

総額 ①～⑤の計		財源内訳(財源区分:①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
806,744千円		229,991千円	0千円	576,000千円	0千円	753千円
①～④の名称・所管等	名称	①地域情報通信基盤推進交付金②地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金		過疎対策事業債		/
	所管	①総務省情報流通行政局地域通信振興課②総務省地域力創造グループ地域政策課				
	金額	①216255千円 ②13736千円		576,000千円		
	補助率	①1/3				